
僕らを引き裂く、天から垂れる細い糸

HERON

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕らを引き裂く、天から垂れる細い糸

【コード】

N3335G

【作者名】

HERON

【あらすじ】

僕らは何も悪い事をしていない。でも、天は僕らに罰を与えた。

僕と彼女は仲良く暮らしていたんだ。ただ、それだけなんだ。別に何の悪いこともしていない。

だけど、天は僕らに罰を与えた。僕らに向かって天から垂れてきた細い糸。彼女はその糸に食いついた。

すると、天から垂れてきた細い糸は、彼女をスルスルと連れ去ってしまった。

もう、僕には手の届かない。宇宙よりもずっと遠くに引き裂かれてしまったような……

だからこそ僕は願う。

天よ。僕の声が天まで届くのなら聞いて欲しい。

罰を与えるのなら僕にも罰を。彼女と同じように僕を天に連れ去って……今の気持ちじゃとても生きていけない。

だから届け。僕の声。

……天に僕の気持ちが届いたのであるうか。

今、僕の目の前には天から垂れる細い糸がある。僕も彼女も悪いことは何一つしていない。でも、天が罰を与えるとこのなら逆らえない。

しかも、彼女はその罰を受けようと天に昇った。だから僕も……彼女と同じ罰が受けたい。

僕は、その細い糸にめいいつぱい食いつき、天へ昇る。

天へ続く道は思った以上に短くて……でも、天はとても眩しくて……彼女も同じ事を思ったのかな。

あつ、僕の啜えた細い糸が僕よりもずっとずっと大きな何かによって外された。天に住んでいるんだから天使かな？ どっちにしても今から僕は罰を与えられるんだ。彼女と同じ罰でありますように……

おお。僕の罰が決定したようだ。

僕は天使に掴まれてどこかに乗せられて、火で焼かれる。とてもとても熱いんだ。罰なんだから当たり前だけど、とても熱い……

そんな僕を天使は笑いながら見つめてる。きっとこれが僕の罰なんだ。

体中から水分が消えていく感じがする。僕はもう少しで死ぬのだろう。意識も朦朧もつろうとしてきた。

……天は僕に罰を与えた。でも、最後に天は僕の願いを叶えてくれた。

横を振り向いてみれば、彼女が僕の横で僕と同じように火で焼かれているではないか。

……罰を受けて死んでしまったんだね。焼け焦げて原型は無くなるうとしてきているけど……でも、僕には分かるよ。彼女を愛していた僕には分かる……僕ももうすぐ行くよ。

天は僕と彼女が同じ罰を受けるのを許してくれた。

きっと僕は彼女と同じ場所に行けるんだ。

良かった。良かった……良かった……

(後書き)

表現力が具体的にどういふものなのかを掴むために書いてみた小説です。

しかし、やはり表現といふものがどのようなものかまだつかめません……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3335g/>

僕らを引き裂く、天から垂れる細い糸

2010年10月17日02時32分発行